



北空知産そば膨れる在庫

北空知産ソバ 膨れる在庫

コロナ禍 需要激減

「取引先からは『みんなに高くて売ってほしい』と言われてきた。今年、その声はゼロだ」。同農協の音藤基・農産課長は苦境の表情を浮かべる。

価格半値 新規開拓に奔走

【深川、幌加内】新ソバの収穫期を迎える中、取扱量全国一のきたそら農協(本所・深川市)で殻付きソバの実(玄ソバ)の在庫が過去最大規模に膨れ上がっている。コロナ禍の影響で取引先である首都圏のそば店が相次いで閉店し、需要が激減。価格も前年の半値以下に下落した。同農協は新たな買い手探しに奔走するが、農家からは「安売りはブランド価値の低下につながる」と懸念する声も上がる。



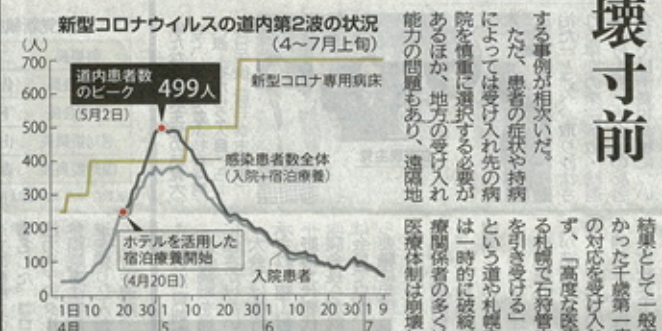
同農協は、生産量と作付面積が市町村別で一位の上川管内幌加内町と、作付面積2位の深川市を含む1市3町が所管エリア。道産ソバの収穫は農作だった2019年産が4800トだった。だが、18年産は多雨の影響で2800トにとどまるなど天候に左右されやすいため、同農協のソバを扱う製粉業者は今年、在庫を大量に確保した。しかし、コロナ禍で外食店の営業自粛が相次ぎ、在庫確保が難しい。同農協の玄ソバの主な販売先は首都圏の高級そば店、テラフックの普及で主要客だったサラリーマン層の足が遠のき、閉店も相次いだ。例年、同農協の玄ソバは収穫の翌年の7月には在庫が全て無くなるが、今年9月時点で19年産を約2千トも抱える異常事態に。天候が比較的安定している今年は4500ト近い収穫が見込まれ、今秋には製粉会社が2月に契約した米国産ソバ1万8千トの輸入も始まるため、市場の飽和状態に拍車を掛かる見通しだ。玄ソバ1俵(45kg)当たりの価格は例年1万1千円台だが、今年は投げ売りに近い状況という。約150トで作付けする深川市の黒崎夫さん(69)は「玄ソバが1枚千円と高くても『食べたい』と思ってもらえないのが北空知のソバ。とれだけの赤字が出るだろう」と落胆する。

同農協は打開策として、セブンイレブン・ジャパ...

札幌の医療崩壊寸前

道内第2波の猛威

【札幌】新型コロナウイルス感染症の被害が拡大し、受け入れ先の病院がない。自前で対応する医師も不足し、受け入れ先の病院がない。自前で対応する医師も不足し、受け入れ先の病院がない。自前で対応する医師も不足し、受け入れ先の病院がない。



札幌の医療崩壊寸前。受け入れ先の病院がない。自前で対応する医師も不足し、受け入れ先の病院がない。自前で対応する医師も不足し、受け入れ先の病院がない。

「処分場で人と雇用を」

神恵内 きょう核ごみ審議

【神恵内】原発からの出た高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の最終処分場選定に向け、神恵内町では「処分場で人と雇用を」というテーマで審議が行われている。

人口減に危機感「村なくなる」

【神恵内】原発からの出た高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の最終処分場選定に向け、神恵内町では「処分場で人と雇用を」というテーマで審議が行われている。人口減少に危機感を感じ、村がなくなると懸念する声も聞かれる。

住民に戸惑う声。一方、処分場で人と雇用を創出する声も聞かれる。町民の間には「処分場で人と雇用を」というテーマで審議が行われている。

複数人が100万円超購入

町と商工会「反省点はある」。町民の間には「処分場で人と雇用を」というテーマで審議が行われている。町と商工会の協議が進んでいる。

町と商工会「反省点はある」。町民の間には「処分場で人と雇用を」というテーマで審議が行われている。町と商工会の協議が進んでいる。